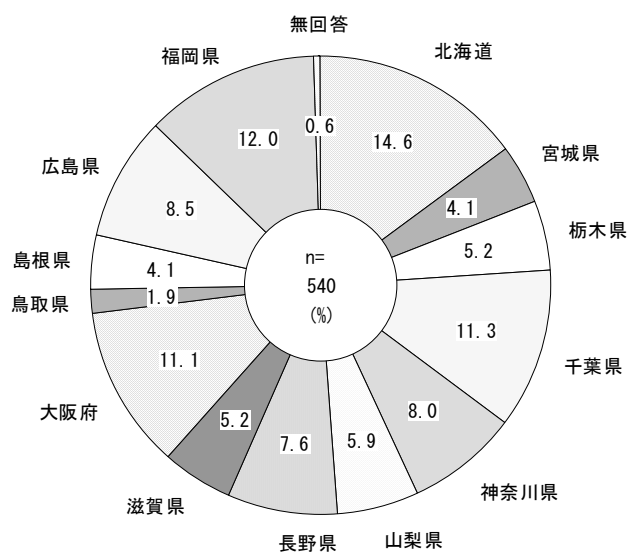


Ⅲ. 「地域の図書館サービスに関するアンケート調査」調査結果

1. 回答された図書館の属性

回答された図書館の所在地をみたものが図表1である。「北海道」(14.6%)の割合が最も高く、「福岡県」(12.0%)、「千葉県」(11.3%)、「大阪府」(11.1%)と続く一方で、「鳥取県」(1.9%)、「宮城県」「島根県」(4.1%)の割合が低い。

図表1 回答された図書館の所在地



回答された図書館の設置者をみたものが図表2である。

図表2 回答された図書館の設置者

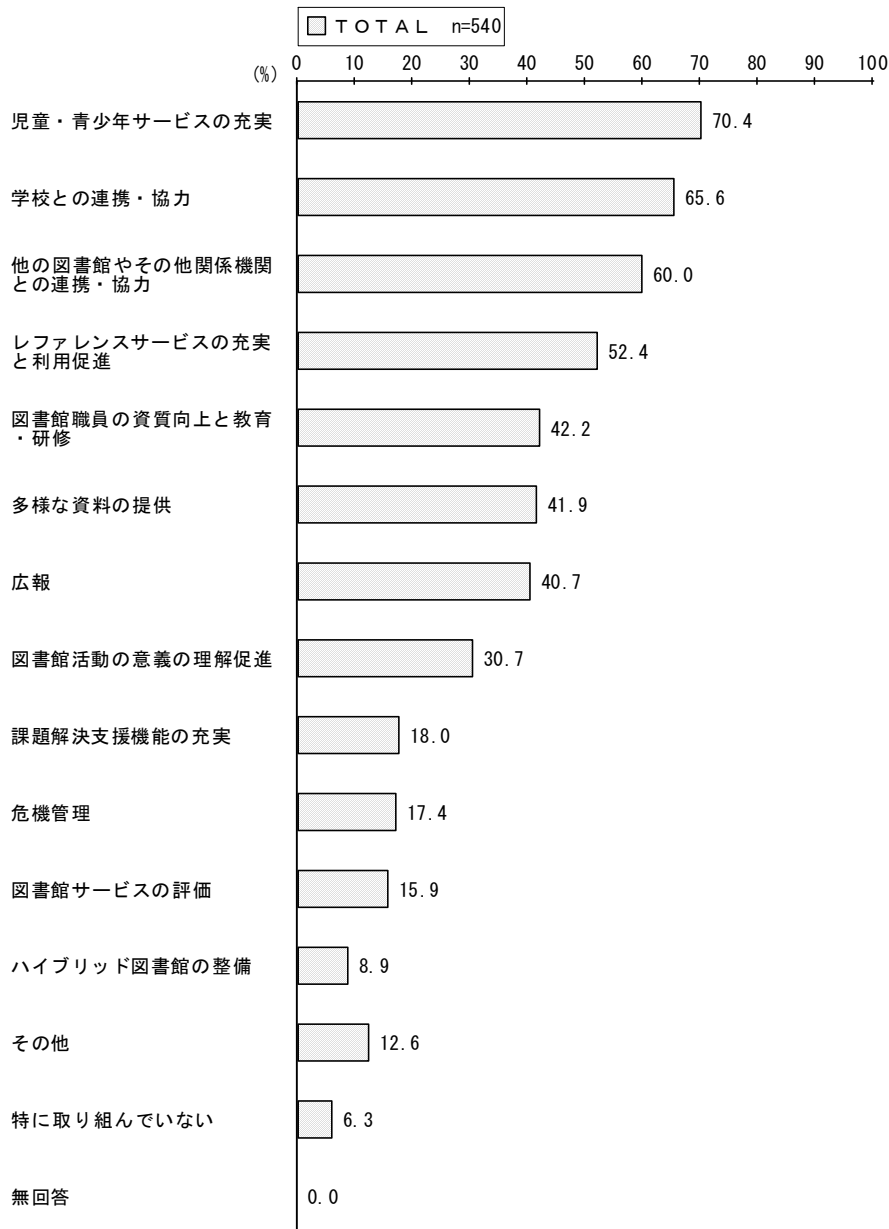
	図書館数 (館)	構成比 (%)
TOTAL	540	100.0
都道府県	16	3.0
市・区	381	70.6
町	135	25.0
村	8	1.5

2. 現在の図書館サービスへの取り組み状況

(1) 図書館サービスや図書館経営の充実で現在取り組んでいる方向（複数回答）【問1】

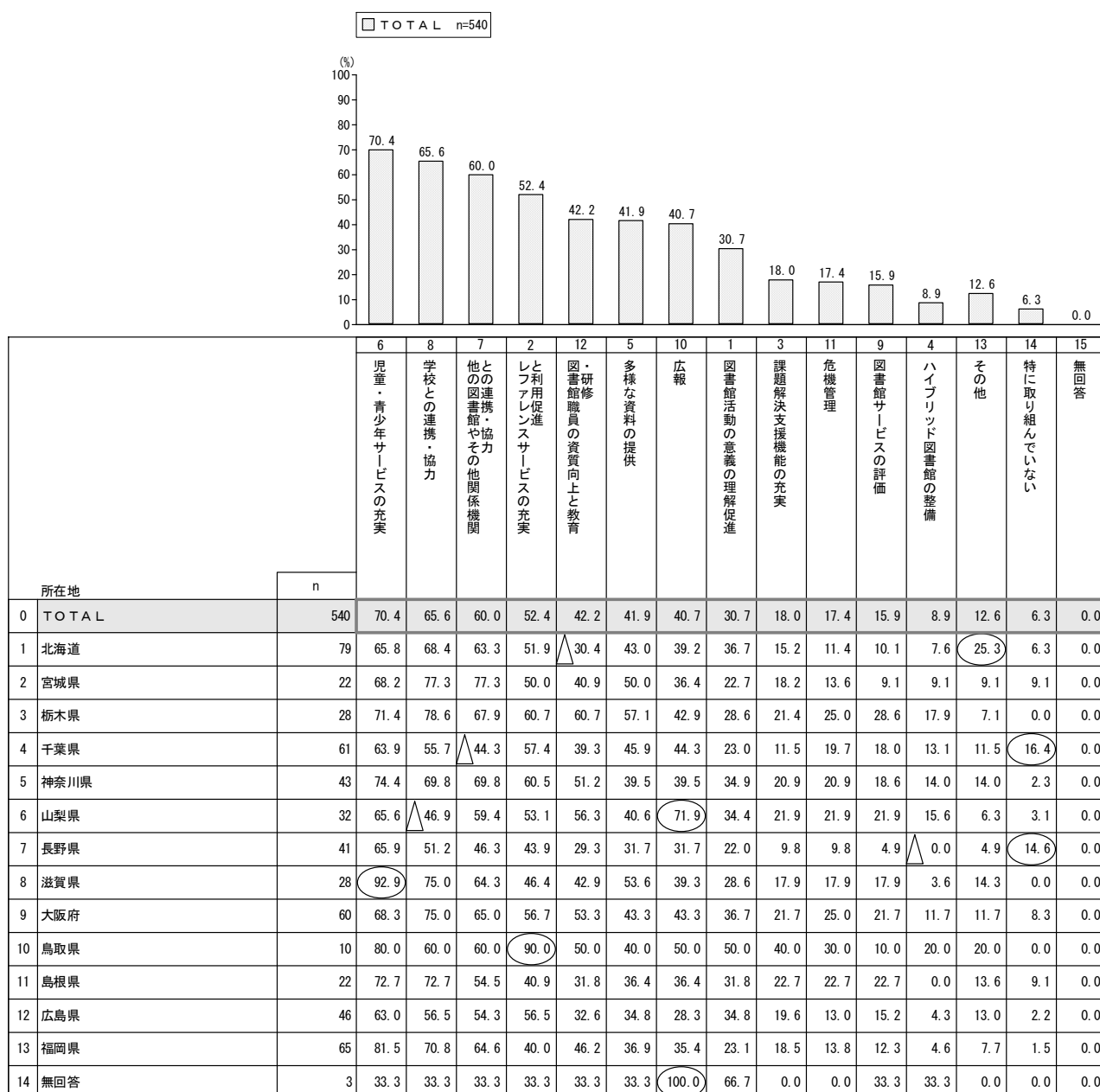
図書館サービスや図書館経営の充実で現在取り組んでいる方向については、いずれかに取り組んでいる図書館が93.7%と9割を超えている。具体的な方向の中では、「児童・青少年サービスの充実」(70.4%)の割合が最も高く、「学校との連携・協力」(65.6%)、「他の図書館やその他関係機関との連携・協力」(60.0%)と続いている。(図表3-1)

図表3-1 図書館サービスや図書館経営の充実で現在取り組んでいる方向（複数回答）



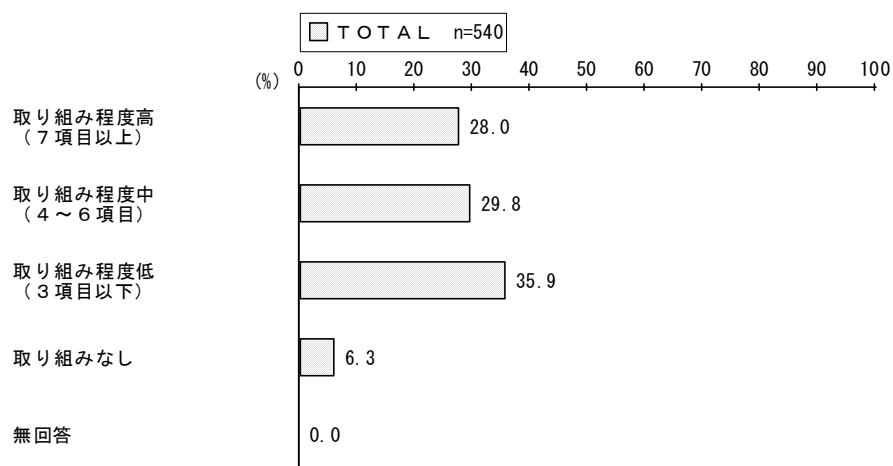
都道府県別では、山梨県で「広報」(71.9%)、滋賀県で「児童・青少年サービスの充実」(92.9%)、鳥取県で「レファレンスサービスの充実と利用促進」(90.0%)の割合がそれぞれ高い。一方で、北海道で「図書館職員の資質向上と教育・研修」(30.4%)、千葉県で「他の図書館やその他関係機関との連携・協力」(44.3%)、山梨県で「学校との連携・協力」(46.9%)、長野県で「ハイブリッド図書館の整備」(0.0%)の割合がそれぞれ低く、「特に取り組んでいない」の割合が千葉県で16.4%、長野県で14.6%と高い。(図表3-2)

図表3-2 図書館サービスや図書館経営の充実で現在取り組んでいる方向(複数回答)
 <都道府県別>



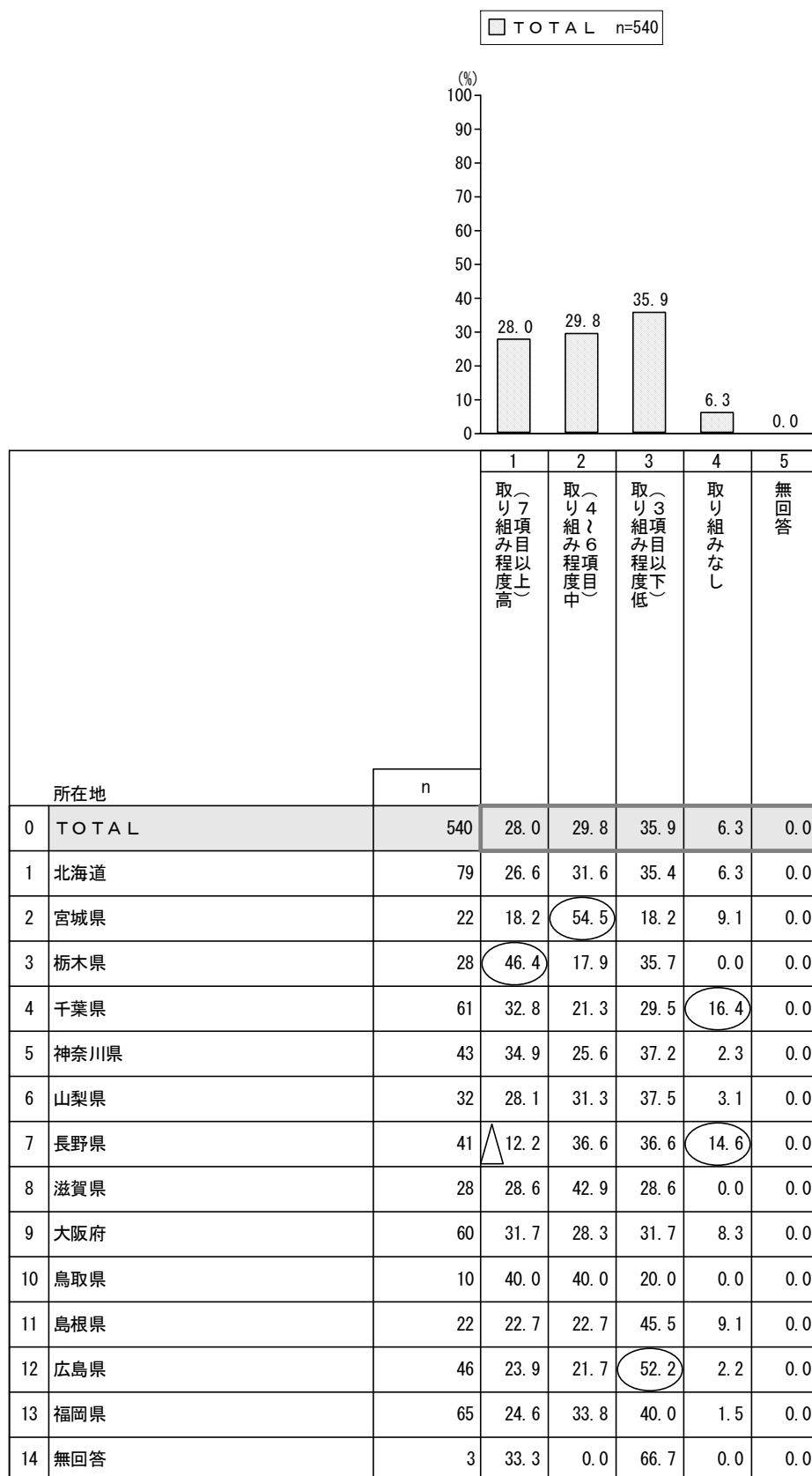
図書館サービスや図書館経営の充実で現在取り組んでいる方向の数の分布から、各図書館の取り組みの程度を「取り組み程度高（＝取り組んでいる方向が7項目以上）」（28.0%）、「取り組み程度中（＝取り組んでいる方向が4～6項目）」（29.8%）、「取り組み程度低（＝取り組んでいる方向が3項目以下）」（35.9%）、「取り組みなし」（6.3%）と区分した。（図表3-3）

図表3-3 図書館サービスや図書館経営の充実の取り組み程度



都道府県別では、栃木県で「取り組み程度高」(46.4%)、宮城県で「取り組み程度中」(54.5%)、広島県で「取り組み程度低」(52.2%)の割合がそれぞれ高い。(図表3-4)

図表3-4 図書館サービスや図書館経営の充実の取り組み程度<都道府県別>



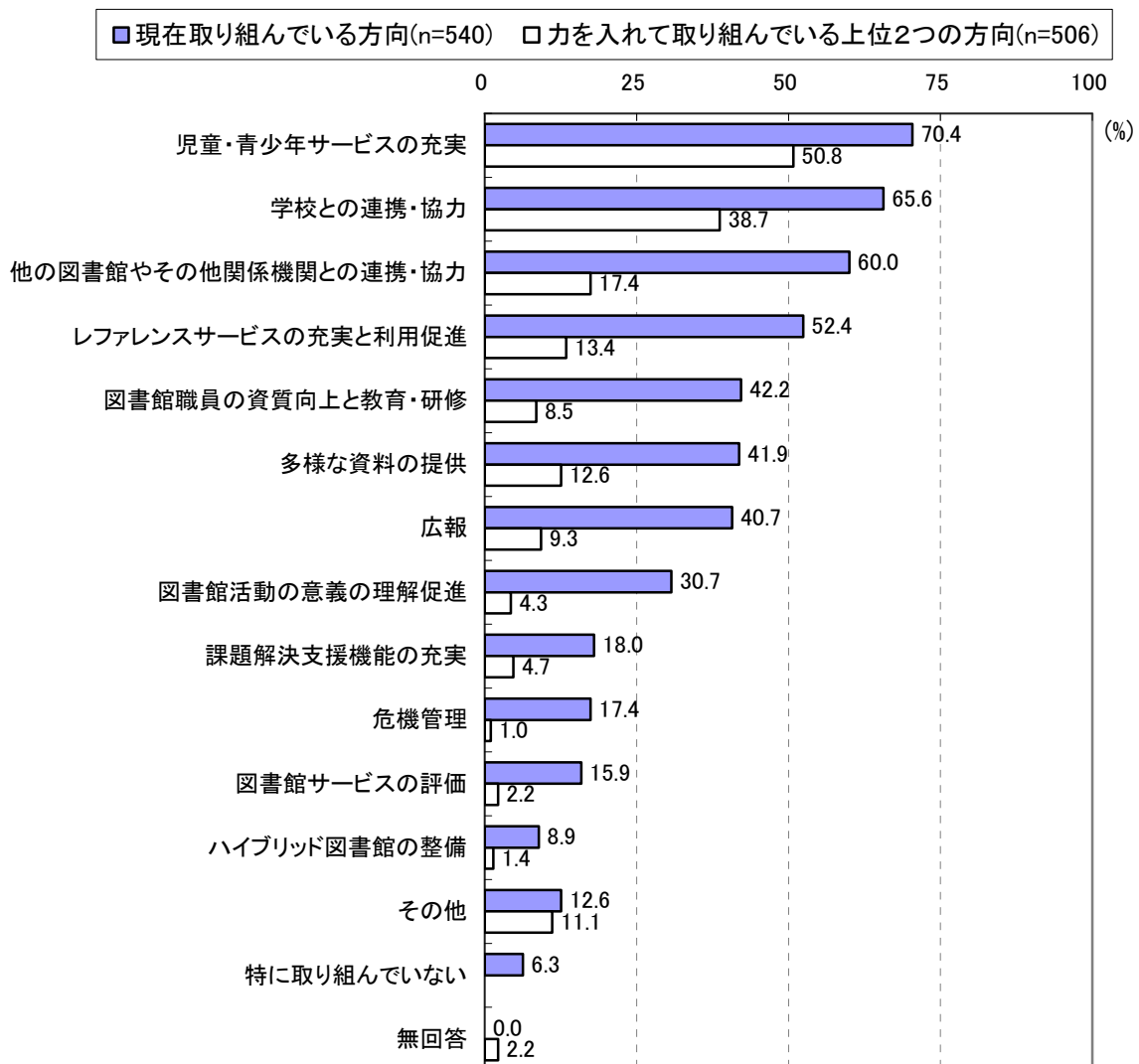
(2) 図書館サービスや図書館経営の充実で力を入れて取り組んでいる上位2つの方向（複数回答）

【問2】

図書館サービスや図書館経営の充実で力を入れて取り組んでいる上位2つの方向については、「児童・青少年サービスの充実」(50.8%)の割合が最も高く、「学校との連携・協力」(38.7%)、「他の図書館やその他関係機関との連携・協力」(17.4%)と続いている。

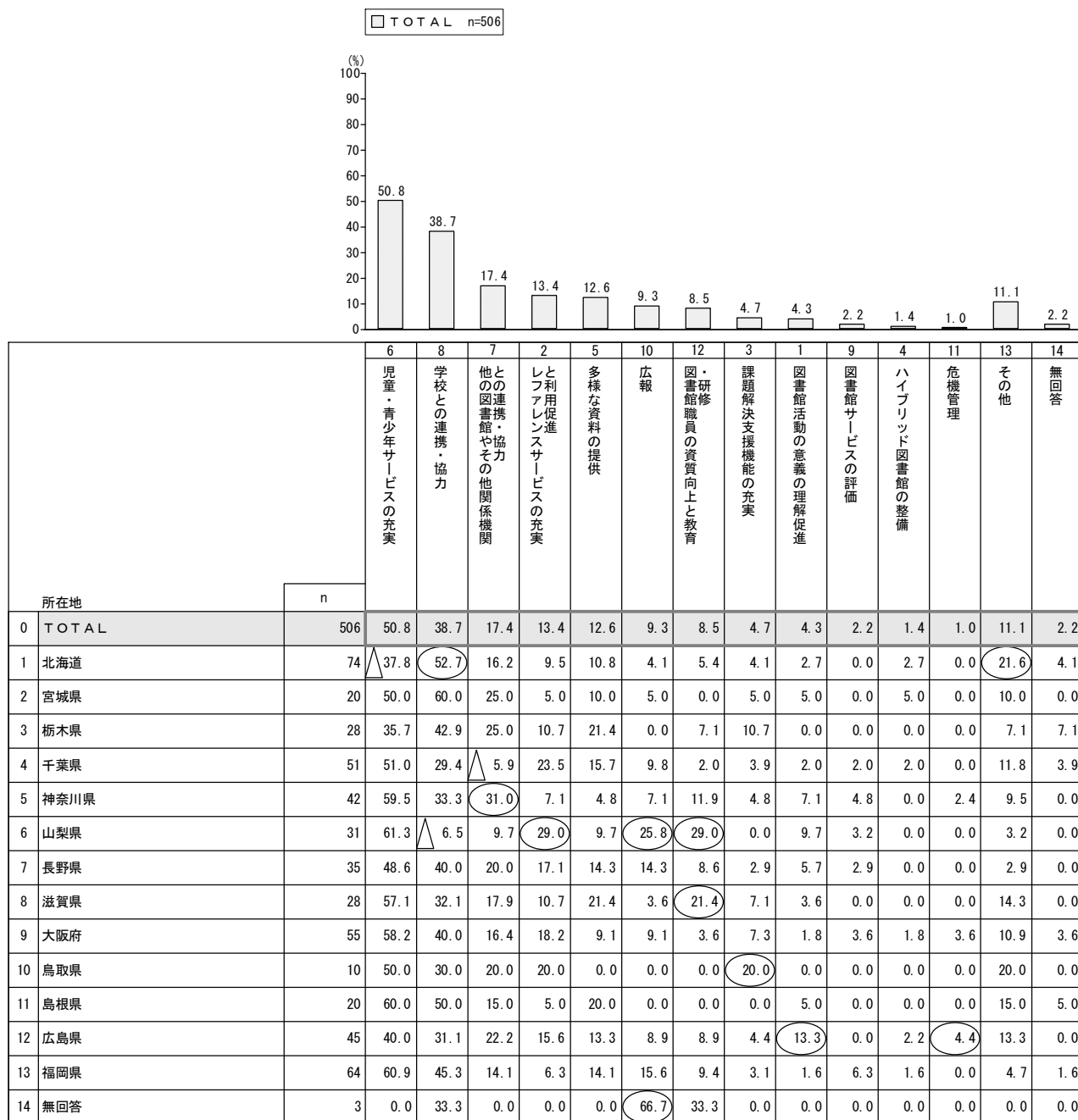
現在取り組んでいる方向との比較では、上位項目の順番はほとんど変わらないが、「他の図書館やその他関係機関との連携・協力」で現在取り組んでいる方向の割合(60.0%)と力を入れて取り組んでいる上位2つの方向の割合(17.4%)に4割超の差がみられた。(図表4-1)

図表4-1 図書館サービスや図書館経営の充実で力を入れて取り組んでいる上位2つの方向
(複数回答)



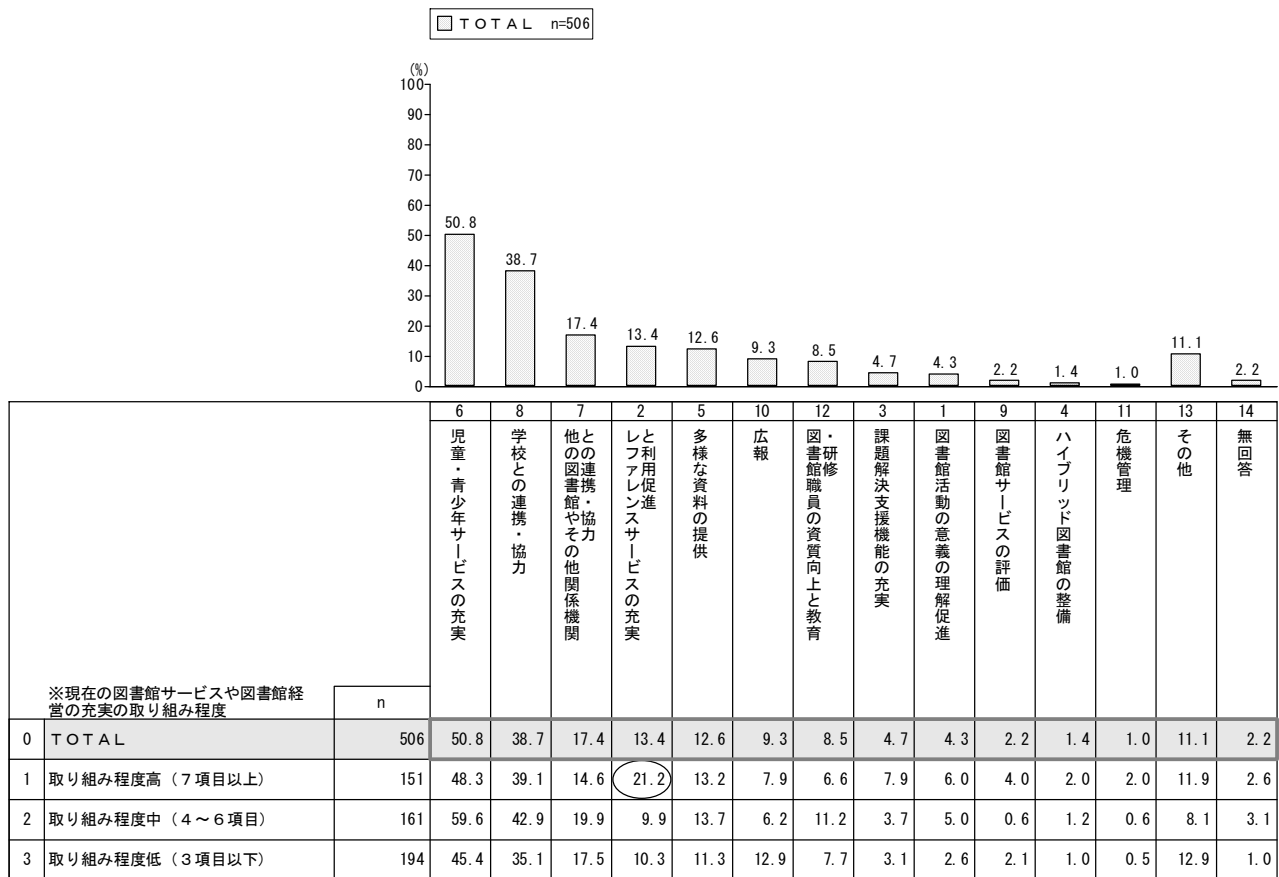
都道府県別では、山梨県で「レファレンスサービスの充実と利用促進」(29.0%)、「広報」(25.8%)、「図書館職員の資質向上と教育・研修」(29.0%)の割合が高く、また、北海道で「学校との連携・協力」(52.7%)、神奈川県で「他の図書館やその他関係機関との連携・協力」(31.0%)、滋賀県で「図書館職員の資質向上と教育・研修」(21.4%)、鳥取県で「課題解決支援機能の充実」(20.0%)、広島県で「図書館活動の意義の理解促進」(13.3%)の割合がそれぞれ高い。(図表4-2)

図表4-2 図書館サービスや図書館経営の充実で力を入れて取り組んでいる上位2つの方向
(複数回答) <都道府県別>



取り組みの程度別では、取り組み程度高（7項目以上）で、「レファレンスサービスの充実と利用促進」（21.2%）の割合が高い。（図表4-3）

図表4-3 図書館サービスや図書館経営の充実で力を入れて取り組んでいる上位2つの方向（複数回答）＜取り組みの程度別＞



それぞれの図書館サービスや図書館経営について、具体的な取り組み内容の要約は以下の通り。

【図書館活動の意義の理解促進】

- ・図書館だよりや自治体の広報紙等の紙媒体やホームページを通しての情報発信
- ・住民公開講座や図書館まつり等のイベントを通しての活動内容のアピール
- ・公募委員を含めた幅広い層から図書館協議会を構成
- ・サポーター養成講座の実施
- ・利用者に対する図書館サービスについてのアンケートの実施

【レファレンスサービスの充実と利用促進】

- ・レファレンスデータベースの構築・事例紹介
- ・パスファインダー（特定のテーマに関する文献、情報の探し方・調べ方の案内）の作成
- ・カウンター・電話・ファックス・インターネットなど様々な方法でのレファレンスの受付
- ・国立国会図書館のレファレンス共同データベース事業に参加
- ・地図資料等、検索しにくい資料へのアクセスが容易な所蔵資料のリストの作成

【課題解決支援機能の充実】

<課題のテーマ>

- ・資格取得・起業・就職等のビジネス支援サービス
- ・シニアライフ応援
- ・行政課題
- ・郷土資料の収集・整理・提供
- ・健康やエコライフ等の住民生活

<手法>

- ・専用コーナーの設置
- ・行政やその他関係機関との連携も含めた講座・セミナーの開催
- ・インターネット情報の紹介
- ・パスファインダーの作成

※テーマがビジネス支援サービスである場合は、ジョブカフェ講習会場における関係図書の設定、ハローワークから求人票の提供を受けて図書館に設置といった内容も挙げられた。

【紙媒体と電子媒体の組合せによるハイブリッド図書館の整備】

- ・古地図、古写真、ポスター等の所蔵資料のデジタルデータ化
- ・ブログを通じてのその時々に応じた資料や情報の提供
- ・インターネットを通じてのレファレンスの受付とレファレンス事例の公開

【多様な資料の提供】

<時事情報>

- ・新聞チラシ等で市民に役立つ情報や教育文化・芸術等幅広い情報に関わるポスター等の館内掲示
- ・随時話題になっている事柄や時事・ニュースや季節に関するミニコーナーの作成

<地域情報>

- ・行政情報（広報誌、チラシ、パンフレット、諸計画及びその概要）の収集・提供
- ・各種機関・団体等の逐次刊行物を網羅的に収集
- ・農林業・商工観光業関連の資料収集・提供（観光案内含む）
- ・郷土資料の収集・保存

<特別資料>

- ・貴重資料の学術的調査に基く修復・保存・レプリカ作成（脱酸処理やデジタル化）
- ・錦絵等の絵画や古地図のカラー写真によるアルバム保存
- ・パソコンによる古文書・古記録の閲覧
- ・特別集書として取扱っている貴重資料の市ホームページにおける目録公開
- ・古典文学・近代文学の複製本の貸し出し

<利用者に応じた資料提供>

- ・地域資料室の開設による研究者等への閲覧・複写などの対応
- ・行政職員や教職員向けの新刊図書情報の情報提供
- ・在住外国人への資料提供
- ・障害者への資料提供：従来のテープ資料に加えて録音資料のデジタル化にともなうデージー資料の製作・提供や点字、手話・字幕付映像資料

<その他>

- ・多種多様な調べものに役立つような参考図書の充実
- ・近隣公共図書館等との相互協力による提供図書の拡大
- ・特定団体や法人からの寄贈受付

【児童・青少年サービスの充実】

- ・図書館で行うサービス：絵本の読み聞かせ・子育て絵本講座・人形劇・読書に関わる講演会の開催、布えほん展等のイベントの実施、子育て支援コーナー（妊娠、出産、育児関連図書、乳幼児向けの絵本、子育て関連情報の提供）・児童コーナー・ヤングアダルトコーナーの設置、職場体験や図書館見学の受け入れ
- ・図書館職員が出向いて行うサービス：育児相談の場に出向いての絵本の貸出しや健診会場で絵本の紹介・読み聞かせ・子育ての悩み相談等の実施、子育て支援センター、保育園、幼稚園、小学校、小児病棟等での出前おはなし会の実施
- ・乳幼児への支援：0歳児向けの絵本や読み聞かせの方法を説明したアドバイス集等のプレゼント、ブックスタート事業の展開、乳幼児向けブックリストの配布、乳幼児のいる家庭への絵本の定期宅配サービスの実施
- ・小中学校への支援：課題図書の貸出、（特に図書館が近くにない学校に対する）移動図書館による貸出、学級単位・学校単位もしくは家庭地域文庫や留守家庭児童育成室等への団体貸出、読書感想文・

画コンテスト、長期休暇にすすめる本のブックリスト作成と配布、リサイクル本の提供、授業内容に合わせた資料紹介

- ・ボランティアに関連するサービス：読み聞かせ講習会や指導者養成講座等による活動支援、児童コーナーにボランティアを配置して選書のサポート・読み聞かせ・本の紹介の実施、読み聞かせボランティアの協力による図書館以外の施設訪問、子ども読書会の開催

【他の図書館やその他関係機関との連携・協力】

- ・学校・福祉施設・病院・保育所等を対象とした団体貸出、図書館の本を地域文庫として配置
- ・ブックスタート事業、幼稚園や児童館でのおはなし会の開催、健診時等を利用した読み聞かせや図書館の利用案内
- ・市内図書館のシステム統合・オンライン化による貸出カードの共通化・貸出館以外への図書返却、公共機関（近隣センターや公民館等）での資料の予約・貸出・返却
- ・近隣図書館・大学図書館・企業および公共機関等の資料室との連携（相互貸出、危機管理上のアドバイス等）

【学校との連携・協力】

- ・図書館利用（団体貸出、来館学習の方法等）の紹介
- ・ブックトラック事業、団体貸出・貸出文庫・巡回文庫による貸出・移動文庫等の実施
- ・リサイクル図書の譲与
- ・推薦図書の選定、読書感想文図書の貸出、感想画、感想文コンクールの実施、調べ学習等の授業への協力
- ・学校での読み聞かせ会の実施、児童の読書への関心を促すためのブックトークの実施
- ・中高生の職場体験や一日司書体験事業の実施、大学のインターンシップ受け入れ
- ・読み聞かせボランティアや学校図書室整備ボランティアの研修会とレファレンス体験の開催、保護者を対象とした講習会等の開催
- ・学校図書室の運営相談、学校図書室の整備支援（レイアウト、本の選定、サイン・提示物アドバイスなど）、各学校への図書館職員の派遣と図書館に学校図書支援スタッフの配置
- ・公共図書館と小中学校図書館をネットワークで結ぶことによる全図書館の蔵書の検索
- ・図書館職員・小中学校教員・教育委員会学務課担当者等による会議体の設置

※館内整理日の一部を利用して小中高校の集団での利用専用特別開館する「スクールサービス・デー」を実施する予定であるといった内容も挙げられた。

【図書館サービスの評価】

- ・図書館サービス評価指標の設定
- ・自己評価・自己点検と平行しての利用者アンケートの実施
- ・図書館評価検討委員会の設置（市民や学識経験者含む）

【広報】

- ・紙媒体による情報提供：館報の発行・自治体広報誌での記事掲載・児童、生徒向けの広報誌作成と配布等
- ・インターネット環境を利用した情報提供：図書館ホームページの充実、図書館ブログの運営、自治体ホームページへの記事掲載等
- ・館内掲示の充実、ケーブルテレビでの行事案内

【危機管理】

- ・自治体の危機管理室との連携
- ・危機管理計画及びマニュアルの作成、研修の実施
- ・日頃の声かけや挨拶で利用者とのコミュニケーションを心がけることによるクレームを未然に防ぐ努力
- ・図書や新聞の紛失防止や利用者の様子を知ることも目的とした館内巡回の実施
- ・危機事象発生後に報告書を提出することによる周知活動

【図書館職員の資質向上と教育・研修】

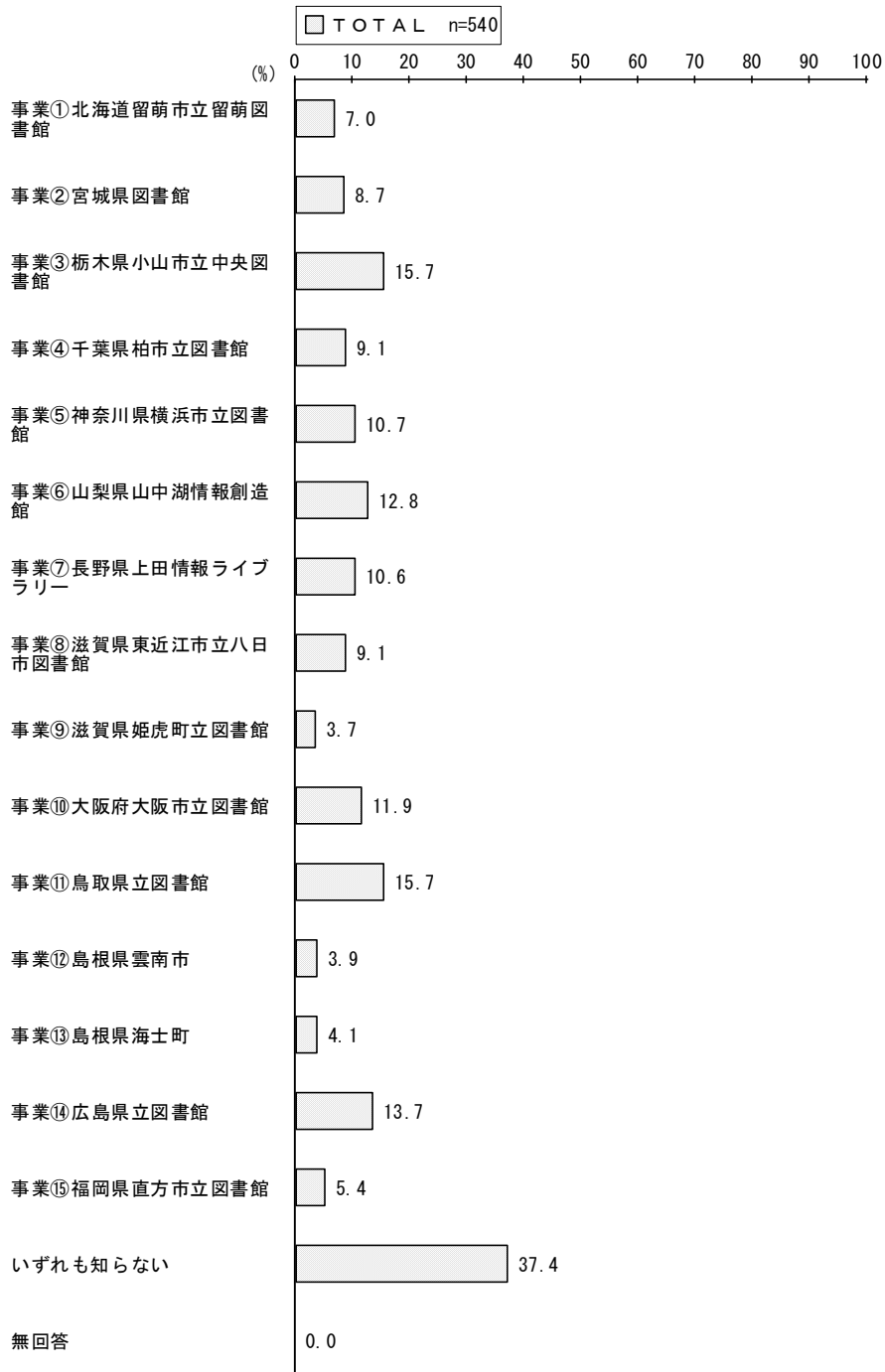
- ・職員およびボランティアの外部講演会や講座への積極的な参加（全国公共図書館研究集会への参加、先進的な取り組みをおこなっている図書館の視察研修）
- ・新人ガイダンス・レベルアップ研修・専門講座を通じた実務だけではない危機管理・個人情報などの幅広い教育
- ・職員の専門性の向上と多様な住民ニーズに答えていくことを目的とした館横断的な形での「サービス企画検討チーム」の発足と研修への参加や企画立案・新規サービスの企画・提案を行う活動などの展開

3. 「地域の図書館サービス充実支援事業」への関心

(1) 「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で知っている事業（複数回答）【問3】

「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で知っている事業については、いずれかの事業を知っている図書館が62.6%と6割を超えている。具体的な事業としては、「事業③：栃木県小山市立中央図書館」「事業⑪：鳥取県立図書館」（15.7%）の割合が比較的高い。（図表5-1）

図表5-1 「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で知っている事業（複数回答）

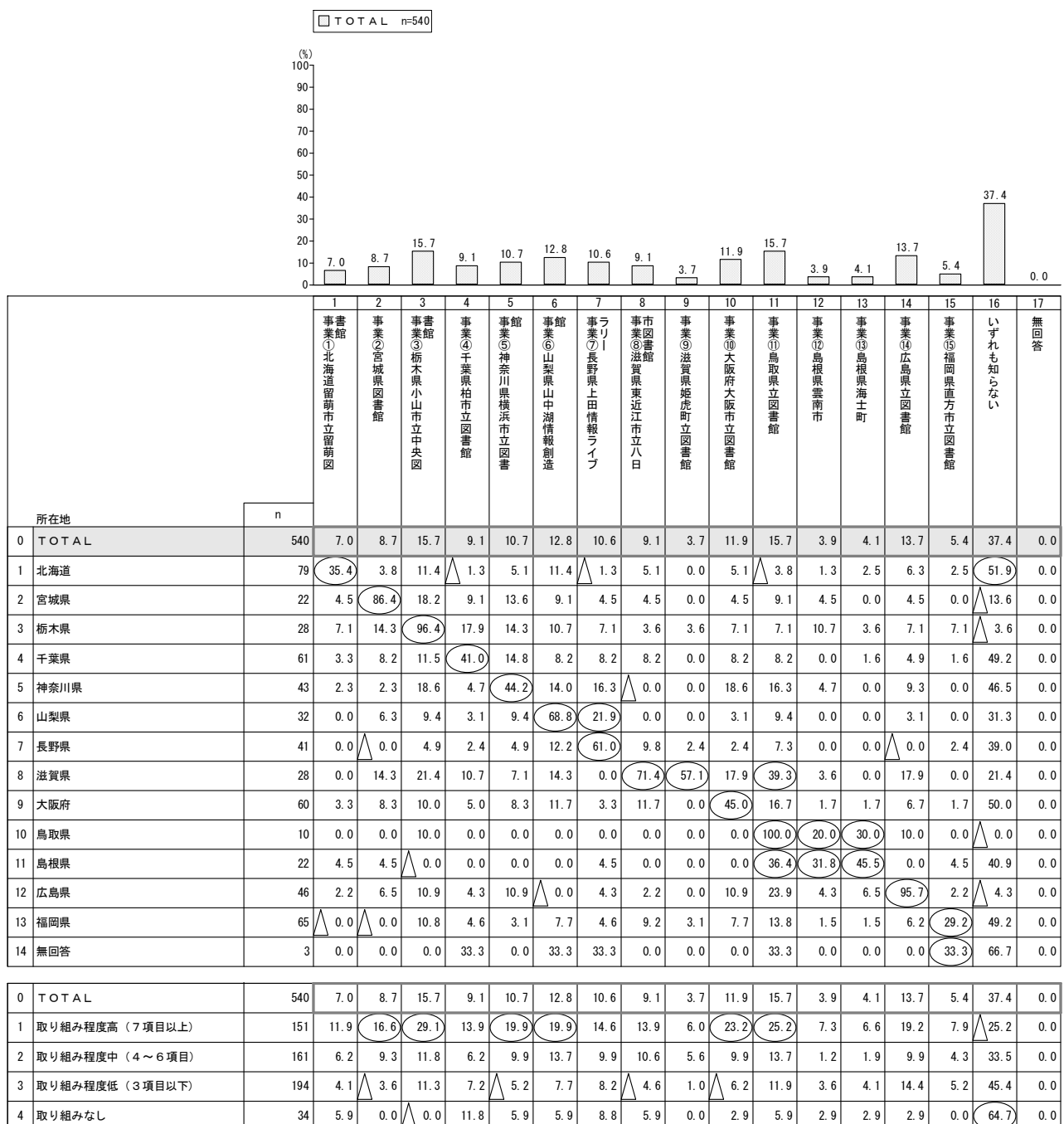


都道府県別では、いずれも自都道府県内の事業については認知している割合が高い。また、山梨県で「事業⑦：長野県上田情報ライブラリー」（21.9%）、滋賀県で「事業⑪：鳥取県立図書館」（39.3%）、鳥取県で「事業⑫：島根県雲南市」（20.0%）、「事業⑬：島根県海士町」（30.0%）、島根県で「事業⑪：鳥取県立図書館」（36.4%）の割合がそれぞれ高い。

取り組みの程度別では、取り組み程度高（7項目以上）で、「事業②：宮城県図書館」（16.6%）、「事業③：栃木県小山市立中央図書館」（29.1%）、「事業⑤：神奈川県横浜市立図書館」（19.9%）、「事業⑥：山梨県山中湖情報創造館」（19.9%）、「事業⑩：大阪府大阪市立図書館」（23.2%）、「事業⑪：鳥取県立図書館」（25.2%）の割合がそれぞれ高い。（図表5-2）

図表5-2 「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で知っている事業（複数回答）

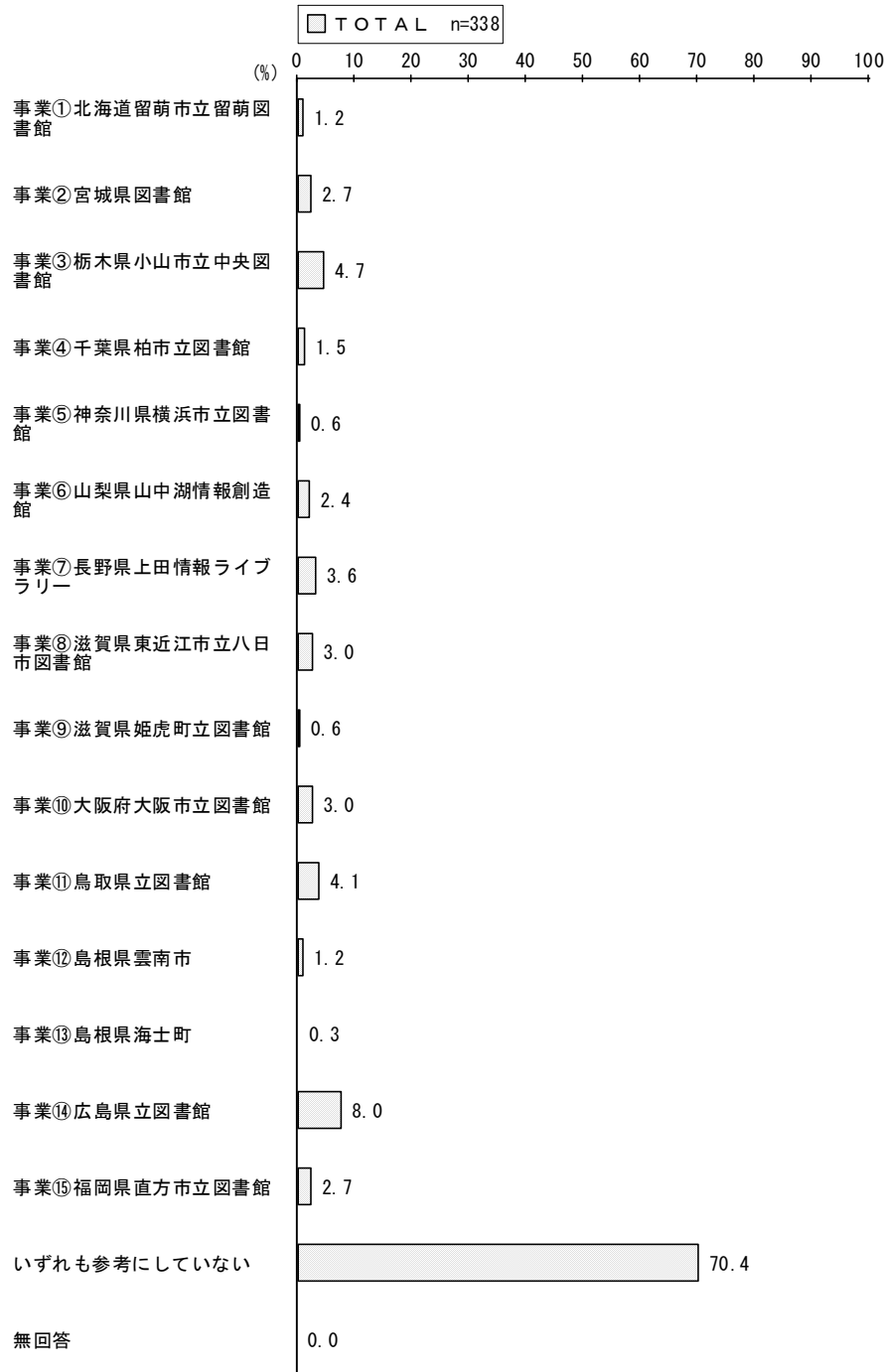
<都道府県別・取り組みの程度別>



(2) 「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で参考にした事業（複数回答）【問4】

「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で参考にした事業については、いずれかの事業を参考にした図書館が29.6%と3割近い。具体的な事業としては、「事業⑭：広島県立図書館」（8.0%）の割合が比較的高い。（図表6-1）

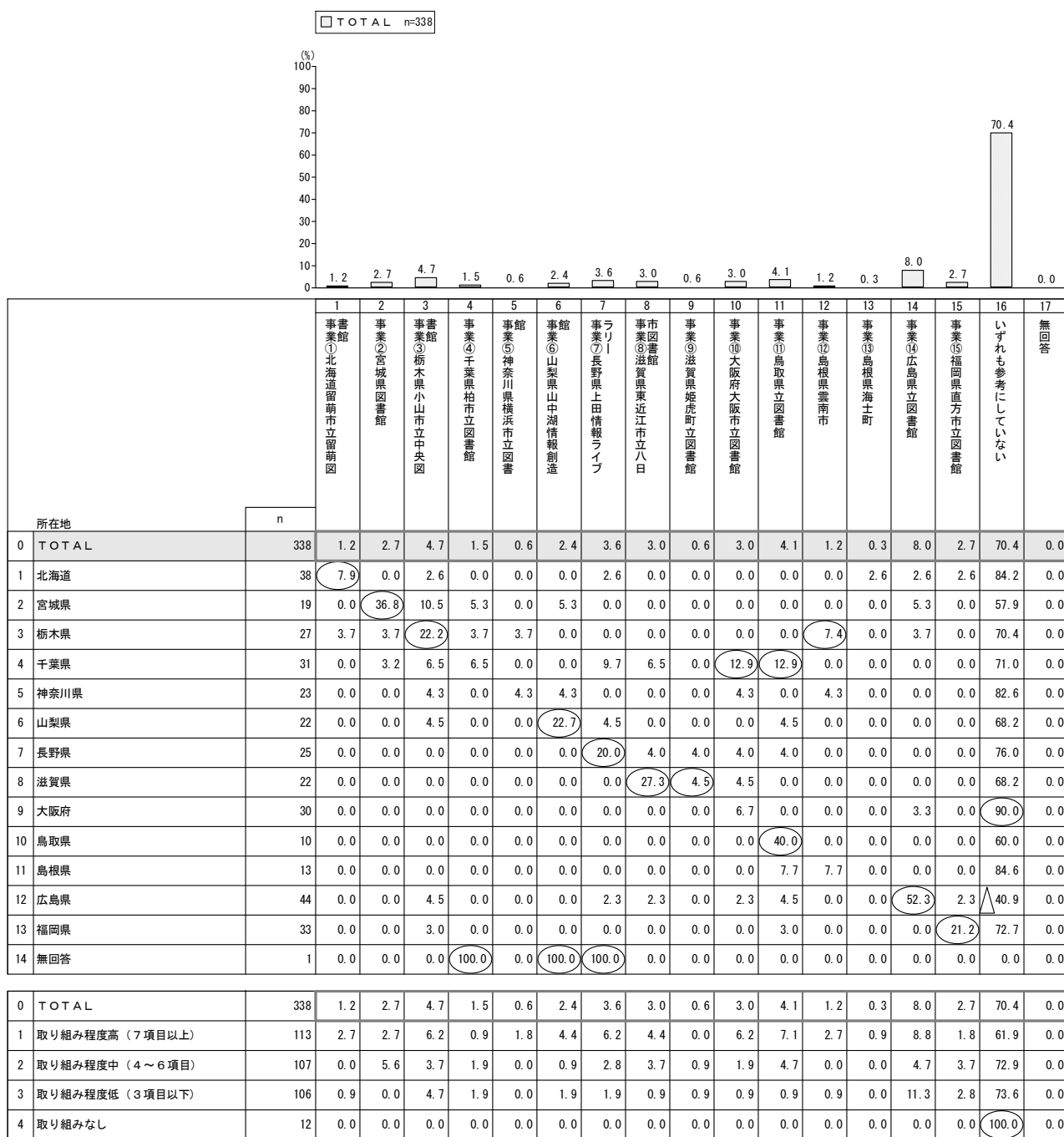
図表6-1 「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で参考にした事業（複数回答）



都道府県別では、北海道、宮城県、栃木県、山梨県、長野県、滋賀県、鳥取県、広島県、福岡県で自都道府県内の事業について参考にしてしている割合が高い。また、栃木県で「事業⑫：島根県雲南市」(7.4%)、千葉県で「事業⑩：大阪府大阪市立図書館」(12.9%)、「事業⑪：鳥取県立図書館」(12.9%)の割合がそれぞれ高く、大阪府で「いずれも参考にしていない」(90.0%)の割合が高い。

取り組みの程度別では、取り組みなしで「いずれも参考にしていない」(100.0%)の割合が高い。(図表6-2)

図表6-2 「地域の図書館サービス充実支援事業」の中で参考にした事業(複数回答)
 <都道府県別・取り組みの程度別>



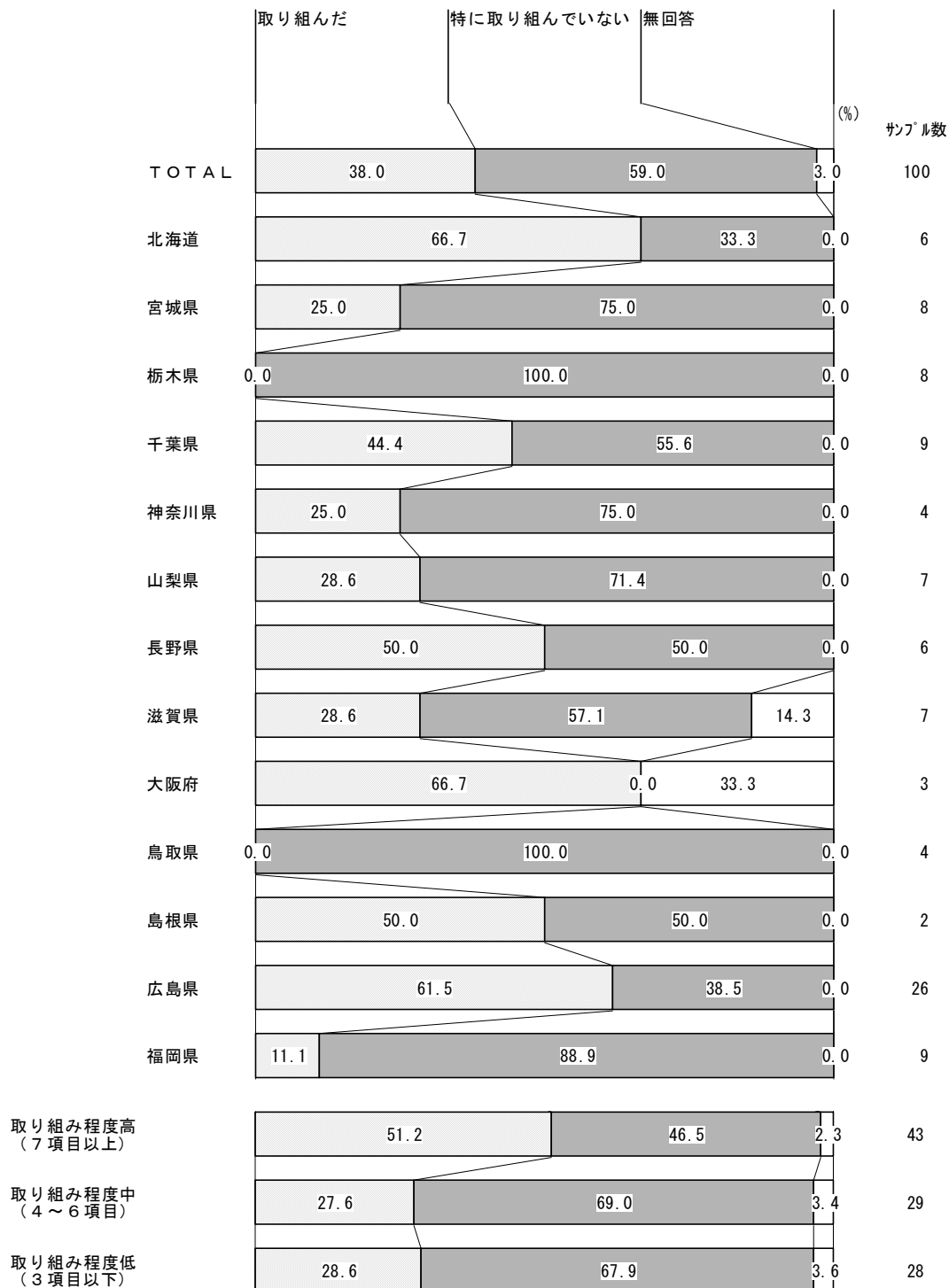
(3) 「地域の図書館サービス充実支援事業」を参考にした充実・改善への取り組み状況【問5】

「地域の図書館サービス充実支援事業」を参考にした充実・改善への取り組み状況については、「取り組んだ」(38.0%)が4割近い。

取り組みの程度別では、特に顕著な違いがみられない。(図表7)

※都道府県別はサンプル数が少ないため、参考値。

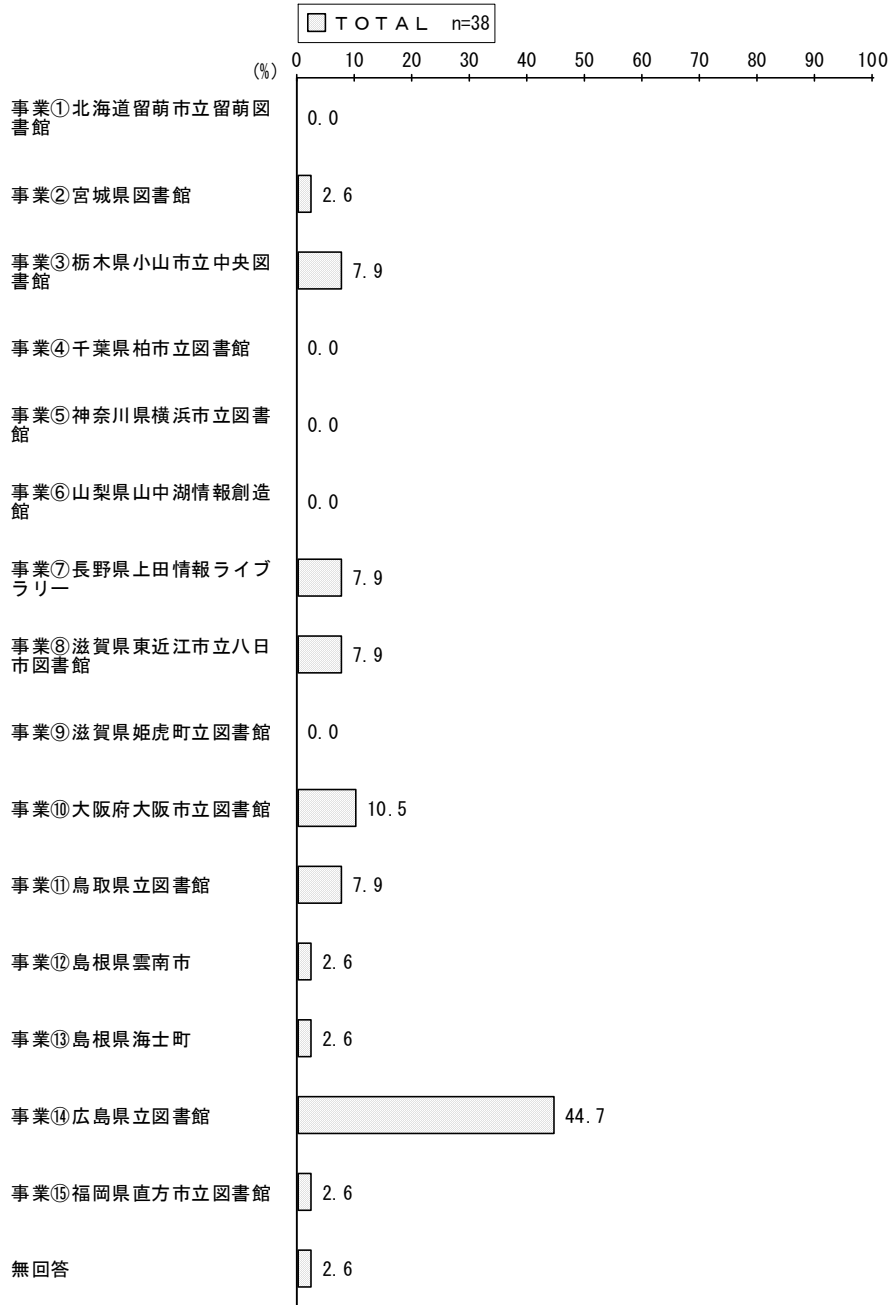
図表7 「地域の図書館サービス充実支援事業」を参考にした充実・改善の取り組み状況
 <都道府県別・取り組みの程度別>



(4) 充実・改善で最も参考にした事業【問6】

充実・改善で最も参考にした事業については、「事業⑭：広島県立図書館」(44.7%)の割合が高く、「事業⑩：大阪府大阪市立図書館」(10.5%)が続いている。(図表8)

図表8 充実・改善で最も参考にした事業

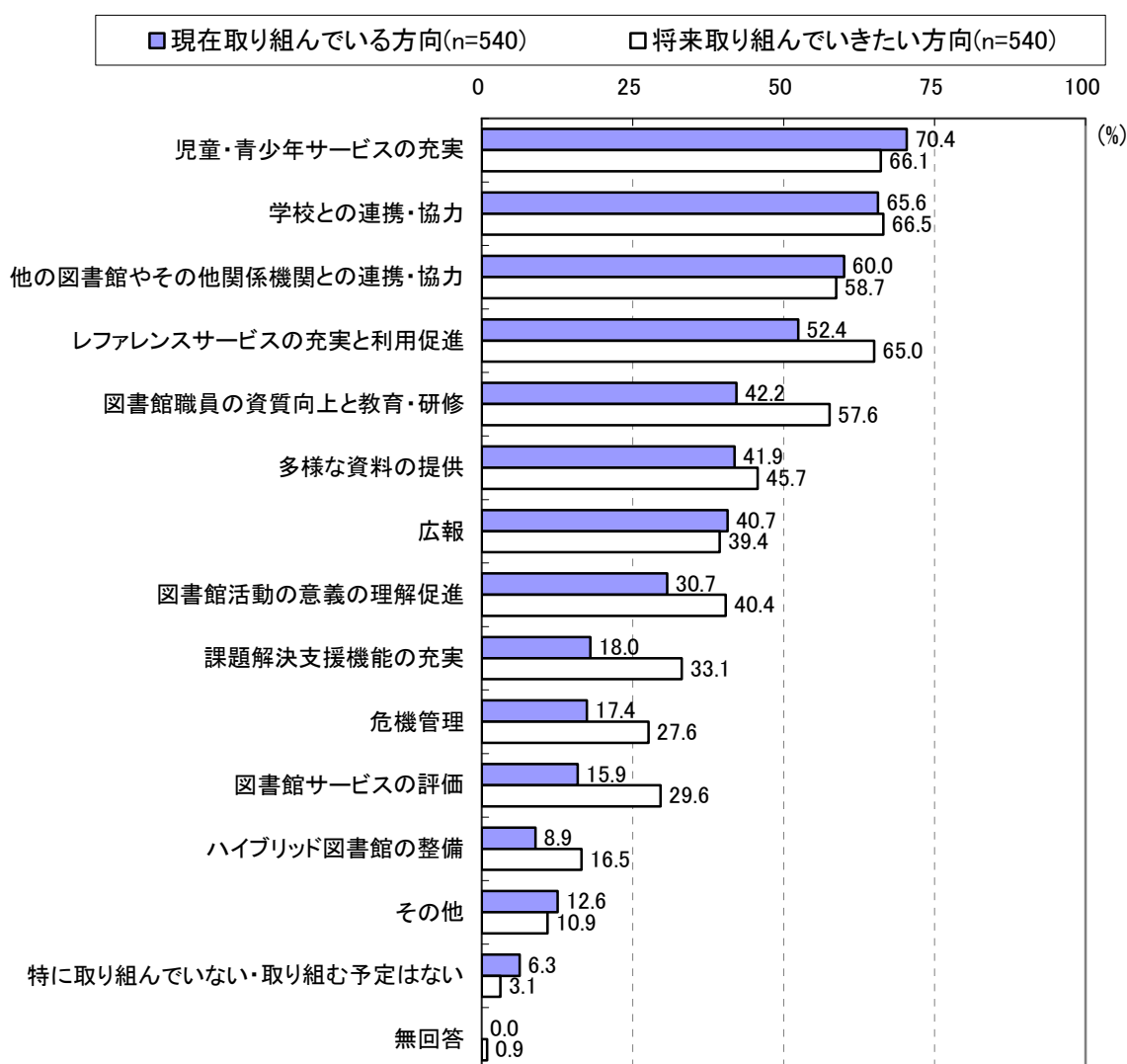


4. 今後の図書館サービスへの取り組み意向

図書館サービスや図書館経営の充実で将来取り組んでいきたい方向については、いずれかに取り組んでいきたい図書館が96.0%と9割を超えている。具体的な方向の中では、「学校との連携・協力」(66.5%)の割合が最も高く、「児童・青少年サービスの充実」(66.1%)、「レファレンスサービスの充実と利用促進」(65.0%)と続いている。

現在取り組んでいる方向との比較では、「レファレンスサービスの充実と利用促進」(現在：52.4%、将来：65.0%)、「図書館職員の資質向上と教育・研修」(現在：42.2%、将来：57.6%)、「課題解決支援機能の充実」(現在：18.0%、将来：33.1%)、「危機管理」(現在：17.4%、将来：27.6%)、「図書館サービスの評価」(現在：15.9%、将来：29.6%)で、現在取り組んでいる方向より、将来取り組んでいきたい方向の割合が10%以上高くなっている。(図表9-1)

図表9-1 図書館サービスや図書館経営の充実で将来取り組んでいきたい方向(複数回答)



都道府県別では、栃木県で「ハイブリッド図書館の整備」(35.7%)、千葉県で「危機管理」(41.0%)、滋賀県で「児童・青少年サービスの充実」(89.3%)、鳥取県で「レファレンスサービスの充実と利用促進」(100.0%)、福岡県で「図書館サービスの評価」(41.5%)の割合がそれぞれ高い。

取り組みの程度別では、取り組み程度高（7項目以上）でいずれの項目も割合が高い。(図表9-2)

図表9-2 図書館サービスや図書館経営の充実で将来取り組んでいきたい方向（複数回答）

<都道府県別・取り組みの程度別>

